

２００６年度 中日本高速道路株式会社 事業評価監視委員会 議事録

- １．日 時：２００７年 ３月 ８日（木） １１：００～１２：００
- ２．場 所：中日本高速道路株式会社 本社会議室
- ３．出席者：林委員（委員長）、奥村委員、木下委員、水尾委員、山内委員
- ４．議事
 - （１）事業評価の概要、中日本高速道路株式会社事業評価実施規則の説明
 - 事業評価の概要（位置付け、流れ）、及び中日本高速道路株式会社事業評価実施規則について事務局より説明した。
 - （２）委員長の選出等
 - 委員の互選により林委員が委員長となった。
 - 委員長に事故があるときの代理として、林委員長が山内委員を指名した。
 - （３）中日本高速道路株式会社事業評価監視委員会運営要領（案）の審議
 - 事務局案を説明し、運営要領については案のとおり了承された。
 - （４）事後評価対象事業の事後評価（案）の審議
 - 対象案件である伊勢湾岸自動車道（豊田ＪＣＴ～四日市ＪＣＴ）の事後評価事務局案を説明の上審議し、対応方針については案のとおり了承された。
 - 主な意見
 - ・計量的に評価できるものについてはＱＯＬ※を取り入れてはどうか。
※ＱＯＬ（Quality Of Life）：住民の生活の豊かさを測る指標
 - ・対象の道路については、生活、産業等の面からも社会的意義の高いものであることが認められる。
 - ・東海環状自動車道と名古屋環状２号線の西側区間の整備を推進すべき。
 - ・更なる利用促進を図るため、道路特定財源の活用により伊勢湾岸自動車道の料金を下げることができないか。
 - ・伊勢湾岸自動車道と知多半島道路（中部国際空港）の接続が悪く、直接繋がってればより便利になるのではないか。
 - ・伊勢湾岸自動車道整備後に渋滞が増えている区間（東名 豊田ＪＣＴ以東、東名阪道 四日市ＪＣＴ以西）について、料金割引のあり方も含め、今後、観察し、検討を加えてはどうか。

以 上